

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 29 年 1 月 5 日 (木)

## ◎項 目

- 1 年始の副知事からのあいさつ【副知事】
- 2 平成 29 年度一般会計当初予算について【総務部】
- 3 各部局等の主要な取り組み【各部局等】

## ◎内 容

### 1 年始の副知事からのあいさつ【副知事】

(副知事)

予算編成が本格化し、組織改正や人事など忙しい日が続くので、体調管理に気をつけて、3月まで頑張っていたきたい。

私からは2つお願いがある。1つ目は、知事も仕事始め式で言われたとおり、悪い話ほど早く上げるということについてはほぼ徹底していただいているところだが、引き続き悪い話ほど知事もしくは私に入れてほしい。悪い話が入った場合は私から何らかの指示を出すし、内容によってはその日のうちに知事が出張中であっても伝えるようにしている。組織として最悪なのは、事態が悪化してから報告すること。一報を入れることをぜひ徹底していただきたい。

2つ目は、効率的に仕事をしていただきたい。職員の体調管理にも目を配り、余計な仕事はしない。副部長、部長が何が余計な仕事なのかを判断していただきたい。例えば議会答弁のすり合わせについて、課長、副部長、部長の段階で3回以内に終わらせることが課長、副部長、部長の責任である。何度もすり合わせが必要となる原因があれば、課長会のときに伝えていただきたい。いずれにしても効率的な仕事を心がけて、自分も含めて職員の体調管理をお願いしたい。

### 2 平成 29 年度一般会計当初予算について【総務部】

総務部より、資料を配付のうえ、平成 29 年度一般会計当初予算について状況説明と依頼があった。

(財政課)

現在、見積額に対する財源不足額が 200 億円程度になっている。11日に予定している財政課長内示では、こうした状況を踏まえ、厳しい内示になると思うので含みおきいただきたい。その上でさらに部長協議、知事協議で調整していかないと予算が組めない状況となっている。皆様から部長にも情報を共有していただきたい。

(総務部)

色々な手当をしても、今の時点で 60 億円弱の財源不足額が依然発生しており、非常に厳しい状況にあるということを確認いただきたい。場合によっては財政課長内示でゼロ内示ということもありうるので、復活要求される場合も、本当にこの事業が必要なのか十分財政課と話し合った上で行ってほしい。

(副知事)

知事も財源が非常に厳しい状況だということを認識している。これまで積極的に施策を進めて成果も出てきたので、その成果を引き続き効果のあるものにしながら、無駄な事業は思い切って廃止するという認識でいてほしい。そういうことを踏まえた課長内示、総務部長査定、知事査定になっていくだろう。

(総務部)

国費などで財源が捻出できないかといった知恵も使っていただきたい。

### 3 各部局等の主要な取り組み【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

#### 【主な協議の概要】

- 「高知カツオ県民会議」について  
(水産振興部)

カツオが3年連続で不漁となっており、特に土佐湾沿岸での漁獲量は過去最低レベルである。原因は、マグロと漁業の国際的な資源問題ということで、太平洋の赤道域で大きな巻き網による乱獲により日本の近海まで上がってこないということが大きく取り上げられている。現在、高知大学の受田副学長、経済同友会の代表幹事経験者の方々が中心となって、国民県民に訴えていこうとの趣旨で、「高知カツオ県民会議」を立ち上げようと準備を進めており、県も足並みをそろえて協力していこうとしている。IoTを活用した資源調査や食文化の発信など、各部局に関わることも考えられる。その都度具体的な内容をお知らせするので、ご協力をお願いする。